

嘘は許さない

No.3
2024年11月3日

津崎裁判ニュース

嘘は許さないプロジェクト
原告 渡邊幹夫・小林國博

第1回「津崎裁判」口頭弁論開催される！！

原告・渡邊さんが、JR総連（貨物労組、西労）組合員とJR貨物会社の傍聴者の前で、堂々と意見陳述をおこなう！！
JR総連の皆さんは、山口委員長を先頭に、裁判所の職員さんに引率してもらって、やっと開廷1分前に傍聴参加！！
ヨカッター 傍聴されないのかとハラハラ心配していました。

原告側は、今回の第1回裁判開催にあたり、良い機会だからJR総連組合員の皆さんにできるだけ傍聴参加してもらい、津崎裁判の真相を直接、組合員の皆さん自身の目、耳で掴んでもらう機会にしたいと思いました。

特に第1回裁判では、原告側がこの裁判を「なぜ提訴したか」、「何が問題なのか」を、冒頭に直接発言できることから、できるだけ多くのJR総連組合員の皆さんに法廷に入ってもらい、原告側が明らかにする「津崎裁判」の真相を聞いて欲しいと思いました。

したがって、原告側は約50名の傍聴希望者が法廷前まで行きましたが、実際に法廷に入るのは7名で我慢しました。そして、それ以外はJR総連側組合員の皆さんに傍聴してもらい、原告・渡邊の冒頭陳述を聞いてもらおうと考えたのです。だから、JR総連側の傍聴者の皆さんがなかなか来られないので心配しました。しかし、開廷1分前に来られたのでホッとしたのです。

原告・渡邊が訴えた冒頭陳述は、情報「東海労関西」第964号の裏面「別紙」のとおりです。ぜひ、原告側、被告側双方の組合員の皆さんに（貨物会社の方にも）一読をお願いします。

以上、明らかにしたように原告側は、津崎裁判を単に正しい判断を裁判所に求め行っているのではありません。裁判の全過程を通し、特に傍聴に来られるJR総連の組合員の皆さんに真実・真相を掴んでもらうことを最大の目的としています。

第2回裁判以降も、そのことを念頭にしっかり裁判に臨んでいきます。

第2回口頭弁論期日 12月11日(水)810号法廷 16時～